



共生 共育

胎内市立きのと小学校グランドデザイン 《H31 きのとプラン》



チームきのと

胎内市の教育

＜教育委員会の理念＞

◇教育は人をつくり、
地域をつくる崇高な営み

＜学校教育重点施策＞

- ◇確かな学力の定着
- ◇あいさつの習慣化
- ◇いじめ・不登校の根絶
- ◇キャリア教育の推進
- ◇特別支援教育の推進

学校像

- ◎一人一人の子どもが輝く学校【**燦**（かがやき）】
- ◎家庭・地域と共に育てる学校【**共育**】

教職員の構え

共有・協働・誠実・率先垂範

保護者・地域の願い

- 自分で根気強く解決していく子どもに
- 友達と協力し明るく楽しく活動する子どもに
- 自分で判断しけじめをもって行動する子どもに

＜教育目標＞

かしこく やさしく たくましく

教育課題

(知) **知識・技能の確実な習得と活用**
共に学び合い確かな学力を身につける子

(徳) **互いに認め合う人間関係づくり**
共に互いに認め合い共に活動する

(体) **健康増進の意欲向上**
心身の健康を考え取り組む子

重点目標

＜重点的な取組＞

- ◆胎内市スタンダードにのっとった授業作り
- ◆対話で深い学びを目指した授業改善
- ◆学びあう場の設定（ペア、グループ、全体）
- ◆学力実態の分析と授業改善
- ◆言語活動の充実と読む力の育成（多読「中学校区1取組」、国語辞典の常用）

＜成果目標＞

- 国語・算数の単元テストで全国平均を上回る児童を80%以上にする。
- 「学年×10分」の家庭学習ができる児童を85%以上にする。

＜重点的な取組＞

- ◆「自分もみんなも大切にする子ども」をテーマに「じんけん」の授業の推進
- ◆ピア・サポートシステムに基づく異年齢集団活動（なかよし班活動）の充実
- ◆相手を大切にする学級集団作りのためのソーシャルスキルトレーニングの実施
- ◆保護者・地域・中学校と連携した「あいさつ声かけ運動」の展開

＜成果目標＞

- 友達のよいところを見つけられる児童を80%以上にする。
- 友達から自分のよいところをみつけてもらっていると感じる児童を80%以上にする。

＜重点的な取組＞

- ◆担任と養護教諭の連携協力した健康三原則の授業の実施（メディアを含む）
- ◆家庭との連携を図った健康三原則に基づいた生活習慣の改善（メディア含む）
- ◆栄養職員との連携協力した食の授業、指導の充実
- ◆「体力テスト」「マラソン」「縄跳び」の強調週間の設定と意欲付け。
- ◆授業展開（ポイントを示した運動、意見交流・アドバイス、ふり返り）等の工夫

＜成果目標＞

- 規則正しい生活を意識し、自分で決めためあてを（就寝時刻、メディア）を達成できた児童を80%以上にする。

自分もみんなも大切にする子どもの育成
～人権教育、同和教育の推進～

家庭、地域、学校間等の連携協力「絆・ネットワーク」づくり

家庭・地域との連携協力

- 家庭と連携した家庭学習・あいさつ・健康三原則の取組
- 水ばしょサポートーズ（学校支援ボランティア）の方々との連携（学習支援、図書、環境、安全安心）
- PTAや後援会と連携した「教育（共育）」の推進



幼保・小・中・との連携協力

- 幼保小で連携した取組の充実（交流会・引渡訓練・情報交換等）
- 小中連携した取組の充実（学力向上・人権教育、同和教育・あいさつ運動等）